

● 特集 2021年8月14日 ハイチの地震

(1) 概要

2021年8月14日21時29分（日本時間、以下同じ）、ハイチの深さ10kmでMw7.2の地震が発生した。この地震の発震機構（気象庁によるCMT解）は、北北東-南南西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型であった。

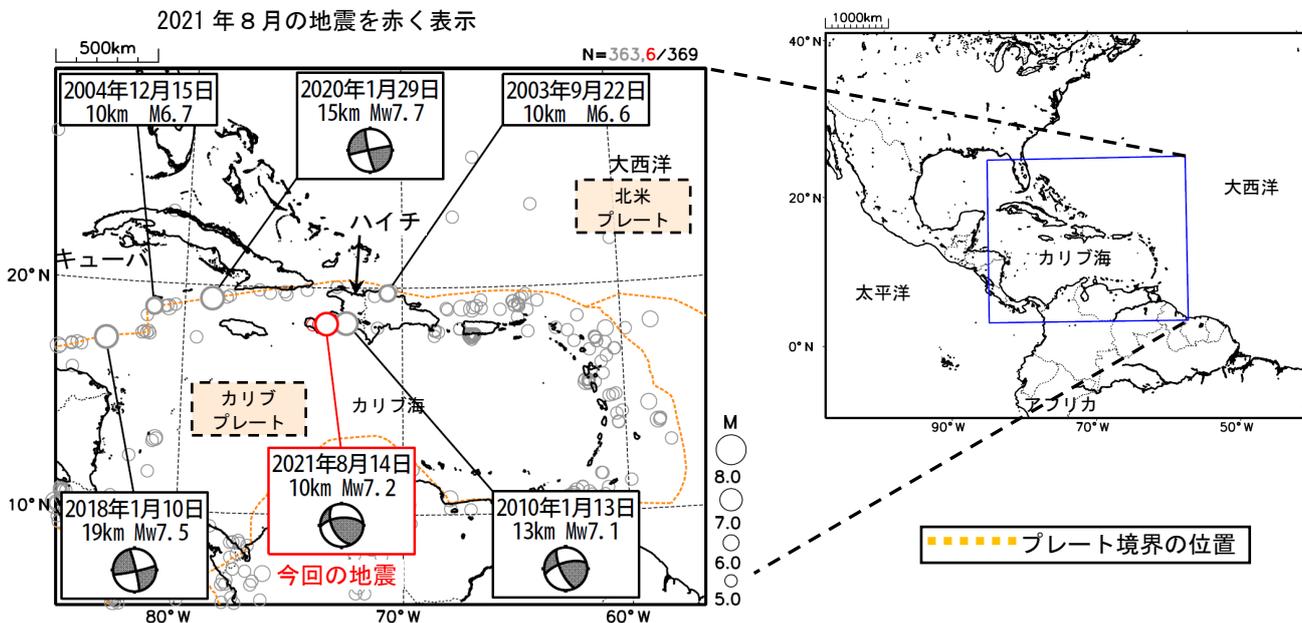
気象庁は、この地震により、遠地地震に関する情報を同日21時55分（日本への津波の影響なし）に発表した。

この地震により、ハイチのポルトープランス、メキシコのプエルト・モレロス、及びムヘーレス島で微弱な津波を観測した（NOAAによる^(注1)）。

この地震により、死者2,207人、行方不明者320人、負傷者12,268人、家屋破壊約5万3千棟、家屋損傷約7万7千棟などの被害が生じた^(注2)。

震央分布図（注3）

（2000年1月1日～2021年8月31日、
深さ0～100km、M \geq 5.0）
2021年8月の地震を赤く表示



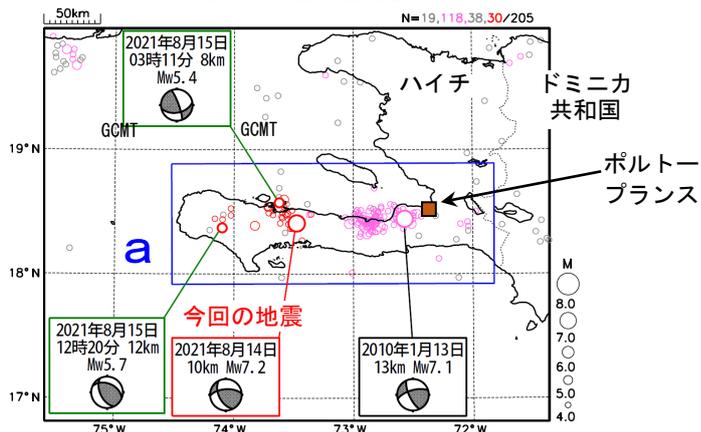
(2) 地震活動

今回の地震の震央は、死者約31万6千人の被害が生じた2010年1月13日のMw7.1の地震の震央から西方へ約100kmに位置する。今回の地震の発生後は、翌15日12時20分にMw5.7の地震（MwはGlobal CMTによる）が発生するなど、数日間には活発に推移したが、次第に収まってきている（8月31日現在）。

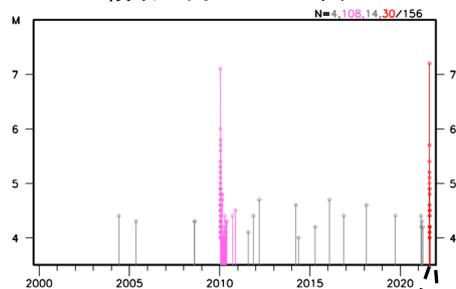
震央分布図（注3）

（2000年1月1日～2021年8月31日、
深さ0～100km、M \geq 4.0）

2010年に発生した地震を桃色、2021年8月の地震を赤色、
その他の期間を灰色で表示



領域 a 内のM-T図



(2021年8月1日～31日、M-T図、
及び回数積算図)

